



本校は、函南町の南西部に位置する全校児童五百四名の小学校です。学区の北部は三島市、西部は沼津市、南部は伊豆の国市に隣接しており、田方地区の中では商業施設が多い環境にあります。

学校教育目標「夢や希望をもちともに未来を拓く心豊かな子ども」の育成に向けて、今年度の重点目標を「豊かに表現しともに高め合う」とし、個を大切に個の良さや力が、集団の力へ繋がるようにチーム西小で取り組んでいます。

児童の多くは、課題や手順が決まれば、それに対して一生懸命取り組んでいます。

本校は、沼津市の北東に位置し、校区には東名高速道路や国道1号線、国道246号バイパスが走っています。全校生徒318名の規模ですが、沼津市随一の開発地区で近年宅地造成が進み、将来的には生徒数が増えていく可能性がります。その昔この辺りは、農村地帯で素朴で堅実な生活を営む専業農家が多く、本校の名前の由来となった門池は、農業を支える用水池として江戸時代から発展してきたそうです。現在は整備され、「沼津の宝100選」の一つとして数えられる校の名所になっております。

りが紹介されます。自前が紹介されます。自分や友だちの名前が呼ばれることの嬉しい気持ちが自信につながると思っています。

今後は、保健委員会の児童と一緒に「西小ナランパーワンプロジェクト」を保健の観点からすすめていと思っています。これまで保健



函南町立西小学校

養護教諭 小野美由紀

自信をもって「西小をナンパーワンの学校にしよう」と返事をしつかりすることや安全な廊下歩行を呼びかけ、生活環境の向上をしっかりと取り組んでいます。しっかりとした取り組みができた児童たちは、お昼の放送で返事名人、廊下歩行人として名

委員会の仕事で、水道、トイレの点検を毎日実施してきました。意欲的に責任をもって仕事に取り組み児童が多く、「今日は、トイレのスイッチが揃っていないな。リッパが揃っていないな。行事前でバタバタしていたからかな。」と蛇口を下向きにして話したら、下向

きにする一年生が増えた。と自分が気づいてきたことをよく話してくれま。こういった児童一人ひとりの気づきを大切に、集団へ広めていきたいと思います。私は養護教諭として、児童が自信をもって前向きに生きていく力や失敗してもまた立ち上



沼津市立門池中学校

養護教諭 堤 宏美

学校教育目標に「大志を抱き突破を目指す生徒」を掲げ、道徳教育を柱とした学校づくりを目指しています。家庭や地域とのつながり、異校種とのつながり、教職員とのつながりを大切に、命や心をつなぐ教育にも力を入れています。伝統的な生徒会活動と

時間を少なくし、家庭学習を中心とする取り組みを推進しています。本校の生徒は、素直で決められたことに対して一生懸命取り組む生徒が多く、保健室への来室も多く、大変落ちついていいます。反面、学級や部活動で友達との関

た。相談室登校をしている生徒をみると、自尊心が低く、背景に複雑な家庭環境も見え隠れします。気持ちの波も大きく、対応に難しさを感じるときもありま。そのため、相談室登校の生徒に関わる教職員とは、毎日のように情報

してあいさつ運動を実施しており、毎朝の校庭でのあいさつ運動はもちろんのこと、2ヶ月に一度校外に出向いてあいさつ運動を行っています。また、小中連携の活動の一環としてノーメディアデーを月に一度設定し、テレビ、スマホ、ゲーム、インターネット等の使用

係がうまく築けなかったり、集団にうまくなじめなかつたりして、相談室登校をしている生徒も少なくありません。今年度から相談室の体制として、スクールカウンセラーや支援員さんを交代で配置し、ほぼ毎日相談室には誰かが常駐してくださるようになりました。



げんきな事業所

富士市役所

(富士市永田町1丁目100番地)

静岡県東部に位置する富士市は、温暖な気候のもと、北には世界遺産の富士山や愛鷹連山を、南には駿河湾を望む景観に恵まれ、海抜0mから富士山頂を目指す「富士山ルート3776」があり、海と「富士山」を有する日本でも唯一のまちです。

が誕生しました。この富士市の中央に位置する富士市役所には、約4,200人の職員が勤務しています。

として「安全衛生・健康づくり推進リーダー」を置き、安全衛生・健康づくりの取り組みを強化しています。

【職場の安全と衛生管理】

市役所では、8つの各安全・衛生委員会と統合調整機能を有する「中央安全衛生協議会」を設置して、職員の安全衛生に係わる目標や好事例の水平展開等、各委員会活動の統一と情報共有を図り、職員全体の安全衛生水準のレベルアップに努めています。

また、各職場において、職員の健康づくり推進や職場の災害防止対策及び安全活動のけん引役を担う具体的な実践指導者と

健康診断及び予防接種 職員の健康状態を把握し適切な就業上の措置や保健指導を行うこと、また、疾病の予防、早期発見及び健康の保持を図り、職務効率をより一層高めるため、定期健康診断及び予防接種等を実施して重要な所見等があった職員に対しては、産業医の面談による保健指導や、保健師・職員健康相談員による健康相談・保健指導を実施しています。また、必要と指示された職員を医療機関受診につなげ、早期発見・早期治療により重症化予防を測ると共に、職員が自らの健康を守るための行動をおこす動機付けとなるよう、保健指導・啓発活動を実施しています。これらの取り組みは、所属長、安全衛生・健康づくり推進リーダーと連携して

実施しています。 「メンタルヘルスの取り組み」 職員の身体面の健康だけでなく、精神面の健康管理にも取り組んでいます。 職員の健康は、適切な職場管理の前提となるものであり、活力ある職場づくりは、当然職員の心身の健康を抜きに語ることはできません。 近年、メンタルヘルス上の問題を抱え、長期の休養を余儀なくされている職員が微増傾向にあり、職場管理をしていく上でも、精神面のケアの重要性が高まっています。

このため、富士市役所では、予防対策として、個人のストレス対処能力の向上や、管理職に対する教育を充実させるため、メンタルヘルス研修を体系化して実施しています。また、精神科医によるメンタル相談、保健師・職員健康相談員による健康相談、全職員に対してメンタルヘルスチェック(平成15年)〜(同様事業が平成27年12月からストレスチェックとして法的に義務化されました)の実施、さらには、早期発見の強化として、職員が相談しやすい体制の一層の拡充にも努めています。 職場復帰にあたっては、休業が長期にわたる職員も多いため、円滑に職場に復帰できるように「職場復帰支援実施要領」を定め、取り組みを実施しています。



保健活動



市庁舎から富士山を望む



市庁舎・消防防災庁舎

今後「みんなで行おう」職場の安全！心と体の健康づくり！をモットーに、職員が安全で健康に働ける職場づくりを目指し、「生涯青春都市富士市」の実現に向けて取り組んでいきます。